



こんにちは。トリプルアイズ広報の白石です。
いつもお読みいただきありがとうございます。

皆様 GW はゆっくり過ごされましたか？ 連休が明け、徐々に夏が近づいてきました。
ビールを飲みながら野球観戦するには最高の季節。心配なく球場に足を運べるようになるといいですね。

さて、今回は“2刀流”大谷翔平選手で注目されるメジャーリーグのデータ活用の話です！

-----<目次>-----

1. ビッグリーグとビッグデータ～大谷選手の活躍で知るデータ主義
2. トリプルニュース
3. 編集後記

1. ビッグリーグとビッグデータ～大谷選手の活躍で知るデータ主義



大谷翔平選手が、すごいことになっています。

投打に活躍といえば慣用句ですが、メジャーリーグで投打でトップに近い成績で活躍となるとほとんど非現実的でさえあります。トップに近い成績も、単に勝利数や防御率、本塁打、打率といった旧来の指標はもとより、大

谷選手をめぐっては日本の野球ファンには見慣れないデータが目につくようになりました。

たとえば「打球速度」。打者がボールを打ち返した際の初速です。大谷選手の打球速度が191.5キロという超メジャー級の数値を示したことが先日ニュースになっていました。

ところで、「そんな数字、測ってたっけ？」と思った方、いらっしょると思います。こうした数値はまだまだ新しいものだからです。

2015年にメジャーリーグの全球場に導入されたスタットキャストというシステムによるものなんです。このシステムはカメラやレーダーを使ってベースボールのありとあらゆる数値のデータ解析を行っています。本塁打になりやすい打球速度と打ち出しの角度などといったものもデータ化されています。

このデータが、近年の「フライボール革命」といわれる、球を打ち上げる打法の流行の原因なのです。また、内野手が1アウトごとにポケットから図表をだして次のシフトを確認している姿を中継で見かけることがあります。これもまたデータのなせる技のひとつです。

メジャーリーグは、これまでも統計的に選手や戦略を評価するセイバーメトリクス。セイバーメトリクスを大胆にもちいた「マネーボール」を経験していますが、今回のスタットキャストはビッグデータ時代の興味深い実例ともいえます。

スタットキャストは物理学者が開発しました。20年ほど前、物理学出身のクオンツと呼ばれる人たちが金融証券業界で数学的手法で株式市場をデータ解析したり、金融商品を設計したりしたことを思い出します。なんともはやアメリカ的な取り組みといえるでしょう。

大谷翔平を応援しながら、ビッグデータについて考えてみてはいかがでしょうか？

2. トリプルニュース

日本とチベットの架け橋をお手伝いしました！

～「日本・チベット国会議員連盟総会」にてトリプルアイズが会場設営に協力しました。



4月27日（火）、衆議院第一議員会館において開催された「日本・チベット国会議員連盟総会」にて、弊社がオンライン会議のネットワーク環境設定を行いました。また感染症対策として非接触自動検温機 AIZE+の設置を行いました。

失敗は許されない…。そんな状況の中で数回のテストを重ね、当日スムーズな運営を成功させました。代表の山田は「日本政府の DX のスモールスタートと、人権問題への貢献が少しできました」と話しておりました。

AIZE が老舗食堂のおもてなしに貢献 伊勢ゑびや大食堂／ゑびや商店様



今月も、AIZE 導入企業様をご紹介します。

「O・MO・TE・NA・SHI」

「おもてなし」とは裏表なしが語源とされております。

キャッチフレーズ的なオモテナシではなく、真の「おもてなし」を100年以上にわたって提供してきた「伊勢ゑびや大食堂／ゑびや商店」様

伊勢ゑびや大食堂様の暖簾をくぐれば、「おもてなし」の何たるかを五感の全てで感じることができます。

伝統を守りつつも、積極的に先進技術を取り入れることで、地方創生大臣賞、日本サービス大賞、グッドデザイン賞と革新的な優れたサービスを実施する企業に与えられる栄冠を数々受賞。

そんな、伊勢ゑびや大食堂／ゑびや商店様のコロナ対策の選択は AIZE Research +
笑顔売る人が笑顔でいられる世の中へ。単なる検温ではない、従業員様、スタッフ様に笑顔が広がる店舗創りの新たな相棒として活躍しております。

編集後記

今回もトリプルマガジンをお読みいただきありがとうございます。

今回は、メジャーリーグにおけるデータの活用をご紹介します。データ解析によって、思いもよらない結果がわかるのは、ビッグデータ時代ならではのことですね。

それでは、次回のトリプルマガジンもお楽しみに！
